

平成30年度大阪府立寝屋川支援学校第3回「学校運営協議会」議事録

開催日時	平成31年3月19日（火） 9:30～11:30			
開催場所	大阪府立寝屋川支援学校 図書室			
出席者	委員	職名等	学校	校務分掌等
	加藤 美朗	関西福祉科学大学教育学部准教授	太田 正義	校長
	窪田 知子	滋賀大学教育学部准教授	岡本 智	准校長
	山崎 淳	寝屋川市立梅が丘小学校長	吉村 昌己	事務部長
	辻 行雄	一般社団法人 エル・チャレンジ L's College おおさか校長	木村 稔	教頭
			和田 泰英	教頭
	今泉 知之	タスキローレル サービス・マスター事業部代表者	角尾 将司	首席
	大槻 千春	寝屋川支援学校PTA会長	西田 宜弘	首席・小学部主事
植屋 正美			首席・高等部主事	
林 尚美			中学部主事	
		安井 悠子	進路指導主事	
傍聴者	なし			
協議資料	平成30年度及び平成31年度学校経営計画及び学校評価（案） 学校に関するアンケート集計結果 地域支援・進路指導について			
議題等	①平成30年度及び平成31年度「学校経営計画」について ②平成30年度「学校に関するアンケート」結果について ②本校のセンター的機能の活動状況について ③進路指導の状況について			
協議内容・承認事項等 (意見の概要)	<p>(1) 平成30年度学校経営計画の達成状況及び平成31年度学校経営計画について、太田校長と岡本准校長より説明があった。</p> <p>(2) 平成30年度「学校に関するアンケート」の結果について、西田首席より説明があった。</p> <p>(3) 本校のセンター的機能の活動状況に関して、地域支援の状況、北河内支援学校相談サポートセンターの取り組み等について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(4) 進路指導の状況に関して、平成30年度小学部・中学部・高等部卒業生の進路先等について、安井進路指導主事より報告があった。</p> <p>(5) 運営協議会委員による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山崎委員から、「学校に関するアンケート」の保護者の集計結果のうち、14番の「いじめ」の対応に関する項目で「わからない」という回答が31%と多いことについて質問があった。それに対して校長や学部主事より、本校では地域の学校で起こっているような「いじめ」は起こりにくく、実際に起こっていないので「わからない」と回答された方が多かったのではないかと説明があった。また辻委員から、教職員の集計結果のうち、18番の「教員間で授業見学ができていない」という項目に関して「あてはまらない」という回答が30%と多いことについて質問があった。それに対して校長より、今年度から研究授業・公開授業の取り組みを始めたが、日々の指導に追われて、見学になかなか行くことができていないのが現状なので、部主事と相談して対応を考えたいとの説明があった。部主事からは、授業をビデオで撮影し、放課後に視聴・研究協議を行うようにすれば無理なく実施できるのではとの提案があった。また、来年度1年間試行する緊急連絡システム（eメッセージ）が話題に上り、辻委員からは効果を府に発信（報告）して教育委員会の取り組みとしてできるように進めてほしいと、今泉委員から地域や他校との連携を考えてみてはと、窪田委員からはメールアンケートで教師の業務が減ればその分他のことに時間を割くことができ、働き方改革になるのではとそれぞれ助言をいただいた。ただ大槻委員は、保護者のメール離れを指摘され、これまでの「まち comi メール」だとアプリの通知を確認すれば良かったが、たくさんのメールの中から必要な情報を探すのは大変だと発言されていた。 (6) 平成31年度学校経営計画の「基本的な方針」（めざす学校像・中期的目標）の承認 ・協議の後、加藤会長が、委員の方々に「平成31年度学校経営計画の【めざす学校像】と【中期的目標】について、提示された案でよろしいでしょうか。」と問いかけがあり、異議なく承認された。その際に加藤会長から、「ホームページ等の評価95%はすごい。北河内支援学校相談サポートセンターや太田ステージの取り組みなど積み重ねが素晴らしい。その反面、先生方の余裕のなさや相談・連携、人間関係という点で心配。バランスを考えながら進めてもらいたい。」とご助言をいただいた (7) 事務局より委員の方々の任期は来年の3月31日までであること伝え、6名全員が来年度も引き続き学校運営協議会委員を引き受けてくださることを確認した。来年度は第1回目を6月から7月、第2回目を12月、第3回目を2月に開催する予定である。 (8) 最後に准校長より、平成31年度学校経営計画の「基本的な方針」（めざす学校像・中期的目標）について承認していただいたお礼と、委員の方々からいただいた課題や提言について、解決に向けて学校として取り組み、本校の教育をより充実したものにしていきたい旨の挨拶があった。 			